

# 第6回学術集会報告

第6回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会

会長 榎野 博史

岡山大学病院 病院長

副会長 重井 文博

医療法人創和会 理事長・しげい病院 院長

平成28年3月26日、27日の2日間、岡山コンベンションセンターにて第6回学術集会を開催致しました。多くの皆様のご支援を賜り、1500名以上の多数の方々にご参加を頂きました。また口演、ポスター合わせて239題と過去最多の一般演題のご応募を頂き、盛会のうちに無事終了することができました。ご協力頂きました全ての関係の皆様へ、心より厚く御礼を申し上げます。

本学術集会は「腎臓リハビリテーションの深化をめざして～チームによる内部機能再生とQOL改善～」をメインテーマに、会長講演、理事長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、よくわかるシリーズ、Young Investigator Award (YIA)、ジョイントシンポジウム（日本心臓リハビリテーション学会、日本リハビリテーション医学会、日本腎不全看護学会）、How to session、ランチョン・イブニングセミナーなど多数の企画を設けました。腎臓リハビリテーションに関する最新の知見に関するご発表を頂き、学術集会にふさわしい活発な討議が行われました。本学術集会を通じて、腎臓リハビリテーションが運動耐容能の改善のみならず、内部臓器の機能再生や個々の

QOL改善をもたらすことがより一層明らかとなり、腎臓病患者の予後向上につながる契機となれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、この度、岡山の地で本学術集会の開催の機会を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。腎臓リハビリテーションが全国的に更に普及し、本学会が今後益々発展することを祈念致します。

